

				科目コード	116
科目名	助産管理 (Midwifery Management)			選択区分	必修
単位数	2単位	時間数	30時間	学期	通年
担当教員	小嶋 理恵子、今村 朋子、嶋屋 順子*、 武智 恵子*、井上 明子、伊藤 美香、 山本 美由紀			区分	助産学実践領域
授業概要	助産管理の基本知識と様々な助産実践システム(産科病棟、院内助産システム、助産所)、災害時の助産活動における業務管理の実際についてオムニバス方式で各実践領域を専門とする教員から学ぶ。 さらに、リスクマネジメントの実際や、母子を中心とした助産実践システムへの変革に向けた取り組みについて発表やディスカッションを通して学習する。				
授業目標	助産師の業務の範囲と法的責任、助産業務管理に必要な知識と業務を効果的に遂行できる能力など基本を学ぶ。開業助産所や院内助産システムの開設と運営についての理解や、周産期の医療連携の観点から助産師が行なう調整について学ぶ。				

授業内容

回	項目	担当者 内容	担当者
1. 助産管理の基本			
1	助産業務管理の基本	助産業務の概念、助産管理の概念、助産と医療経済、助産実践システム調査課題について	小嶋理恵子 今村朋子
2	助産に関連する法規と責任	わが国の医療保険制度、関連法規、助産師の法的義務・規制	小嶋理恵子
3	産科におけるリスクマネジメント	リスクマネジメント、産科医療事故	
2. 病院における助産管理の実際と発展的活動			
4	周産期医療制度と産科病棟管理	総合周産期医療センターの役割(産科病棟の管理、産科外来の助産管理、人材育成)	嶋屋順子
5	院内助産システムの構築	院内助産システムとは 助産外来・院内助産の実際	(教育協力者) 小嶋理恵子
6	災害時の助産活動	災害を想定した日常の訓練、被災地施設との連携、助産活動の実際	(教育協力者) 小嶋理恵子
7~9	様々な助産実践システムの現状分析と今後の展望(発表とディスカッション)	各施設の助産実践システム調査発表 ・母子を中心とした助産実践システムとは ・ケアの変革に向けたチャレンジ	今村朋子 小嶋理恵子 井上明子 伊藤美香 山本美由紀
10	助産業務ガイドラインに基づく事例分析(発表とディスカッション)	助産診断におけるリスクマネジメントの実際 助産業務ガイドラインの活用 医療連携と搬送の判断、転院・搬送時のケア	今村朋子
3. 助産所における助産管理			
11	助産所とは(※4月に実施) 助産所の管理に関する法規	助産所の定義・分類・地域での位置づけ 助産所の開設と管理者の役割	今村朋子
12~13	助産所の管理運営の実際 地域における助産活動	安全管理と医療連携・施設管理 助産所経者に求められる姿勢 妊産婦管理の実際と地域母子保健活動	武智恵子
14	助産所開業に向けたビジョン	助産所開業計画の発表	武智恵子 今村朋子
4. 助産師個々のキャリア管理			
15	助産師としての将来ビジョン	助産師の卒業時の到達目標と到達度 助産師のキャリアプランとクリニカルラダー	小嶋理恵子 今村朋子
成績評価方法	施設発表 50% (小嶋・今村)、ガイドライン 20% (今村)、開業計画 30% (武智・今村)		
教科書	我部山キヨ子・毛利多恵子 「助産学講座 10 助産管理」(医学書院)		
参考図書等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成田伸「助産師基礎教育テキスト 周産期における医療の質と安全」(日本看護協会出版)</li> <li>・「助産所開業マニュアル改訂版」(日本助産師会出版)</li> <li>・「助産業務ガイドライン」(日本助産師会出版)</li> <li>・「助産師業務要覧 第2版」(日本看護協会出版)</li> </ul>		
備考			